ガンジス川での沐浴

ヒンドゥー教には色々な考えがあって、ヒンドゥー教の生活に色々な影響を与えています。「沐浴」はその一つで、沐浴は水に入って、体と心をきれいにすることです。たくさんのヒンドゥー教徒は朝、起きたら、お寺の池や川で沐浴をします。特に、ガンジス川でする沐浴は有名です。でも、どうしてヒンドゥー教徒はガンジス川で沐浴をするのでしょうか。

ヒンドゥー教には大切な神様が三人いて、その中の一人は「シヴァ」です。ガンジス川の水は、そのシヴァの体から流れているものと考えられています。また、川は「ガンガー」という神様だと考えているから、ガンジス川で沐浴をします。その大切なガンジス川の近くには、沐浴をする場所がたくさんあって、その中心は「バラナシ」という都市です。そしてヒンドゥー教徒は沐浴場の石の階段を下りて、川に行って、川の水に頭まで入って、体をきれいにします。また、川の水を飲んだり、体を洗ったり、ひげを剃ったり、歯を磨いたり、洗濯をしたりします。この川で沐浴をするために、巡礼に来るヒンドゥー教徒はたくさんいます。ヒンドゥー教徒は死んだら、ガンジス川を通って、新しく生まれ変わると信じています。だから、インドでは、川の近くで死んだ人を

焼(や)いて、その灰(はい)を川に流します。これはヒンドゥー教徒(きょうと)にとってガンジス川はとても大切だから、これは一番の幸(しあわ)せなことです。

●池＝pound ●ひげをそる＝to shave beard ●洗濯＝laundry ●巡礼＝pilgrim (a journey to a sacred place)

●灰＝ash

質問に答えましょう。答えは文章で書きます。

１、沐浴(もくよく)は何ですか。

２、どうしてヒンドゥー教徒(きょうと)はガンジス川で沐浴(もくよく)をしますか。

３、ヒンドゥー教徒(きょうと)はガンジス川でどんなことをしますか。

４、どうしてヒンドゥー教徒(きょうと)は死んだ人の灰(はい)をガンジス川に流(なが)しますか。